公立みつぎ総合病院

1）研修スケジュール

月	8：30～12：00 診察	13：00～16：30 各種カンファレンス、研修
火	8：30～12：00 診察	13：00～16：30 各種カンファレンス、研修
水	8：30～12：00 診察	13：00～16：30 各種カンファレンス、研修
木	8：30～12：00 診察	13：00～16：30 各種カンファレンス、研修
金	8：30～12：00 診察	13：00～16：30 各種カンファレンス、研修
土	休み	

2）公立みつぎ総合病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	医療面接が適切に行える。			
2．	基本的身体診察が適切に行える。			
3．	在宅医療が実践できる。			
4．	緩和ケアが実践できる。			
5．	介護保険のしくみが理解できる。			
6．	保健事業のしくみが理解できる。			
7．	病診連携がうまく行える。			
8．	地域包括ケアの理念が理解できる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患	経験できる手技
・一般外来 ・救急疾患（特に当直時） ・各種感染症（特に肺炎、尿路感染症、蜂窩織炎など） ・各種神経難病 ・脳血管疾患、整形外科症例（リハビリテーション中心） ・褥瘡、蜂窩織炎を中心とした皮膚科疾患 ・各種認知症	・胃瘻交換 （手技ではないが） ・特別養護老人ホーム ・介護老人保健施設 ・グループホームなど 介護関連施設における診療 ・訪問診療 ・訪問看護 ・訪問リハビリテーションなど 在宅における診療

(注：必ず経験できるとは限りません！)

公立みつぎ総合病院

4）推薦書籍

難易度　★

コメント

転倒予防、食欲低下、CGA、ACPなど内科を診療する上ではぜひ読んでほしい本です。

難易度　★ ★

コメント

症状や各検査の陽性尤度比など、参考書として手元に1冊。

難易度　★

コメント

かぜを自信持って診療できるようになりたい人は必読！

5）事前アンケート　なし

6）自由記載欄（研修について要望などがあれば、自由に記載してください）

7）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

水島中央病院

1）研修スケジュール（月曜日～土曜日）

内　科	午前 外来診療または病棟回診	午後 検査または病棟回診
外　科	午前 外来診療または病棟回診	午後 手術(火),(木),(土)または病棟回診
小児科	午前 外来診療または病棟回診	午後 外来診療または病棟回診
整形外科	午前 外来診療または病棟回診	午後 手術(月),(水),(金)または病棟回診
脳神経外科	午前 外来診療または病棟回診	午後 手術(火),(木)または病棟回診

※全科において救急全般のファーストタッチを行う（他研修科：皮膚科・泌尿器科あり）

2）水島中央病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1.	患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。			
2.	診療のアウトカムおよび患者の満足度が最大限となる医療を心掛ける。			
3.	他医師や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。			
4.	指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。			
5.	同僚および後輩への教育的配慮ができる。			
6.	臨床上の疑問点を解決するための良質なエビデンスを効率よく収集・評価し、当該患者への適応を判断できる。			
7.	臨床研究の意義を理解し、研究や学会活動に関心を持つ。			
8.	医療面接は、診療情報を集めるための最も有効な方法というだけでなく、それ自体に治療効果も備わっていることを理解し、実践できる。			
9.	陽性所見だけでなく、関連する陰性所見を盛り込んだ適切な症例呈示ができる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患	**経験できる手技**
急性上気道炎、扁桃炎、副鼻腔炎、 インフルエンザ、急性気管支炎、肺炎、 感染性腸炎 (細菌性・ウイルス性)、 急性虫垂炎、大腸憩室炎、胆嚢炎、膵炎、 尿路感染症 (膀胱炎、腎盂腎炎) 糖尿病、甲状腺機能亢進症・低下症、 胃癌、大腸癌、肝癌、胃・十二指腸潰瘍、 胃炎、逆流性食道炎、機能性ディスペプア、過敏性腸症候群、片頭痛、高血圧、 外傷、骨折、脳血管障害、心不全 小児心身症、発達障害、他多数あり	・皮下注射、筋肉注射 ・静脈採血、血管確保 ・動脈採血、血管確保、血液培養 ・腹部超音波検査 (一般的なルーチン検査) ・中心静脈確保（助手） ・経管栄養チューブ挿入（助手） ・簡単な皮膚切開・排膿・縫合 ・軽度の外傷・熱傷の処置 ・関節穿刺 ・上部・下部消化管内視鏡検査（助手）

(注：必ず経験できるとは限りません！)

水島中央病院

4）推薦書籍

難易度　★
コメント
カルテ記載法のエッセンスを習得できる1冊

難易度　★
コメント
外来で「最も頼りになる」1冊

難易度　★★
コメント
症状や各検査の陽性尤度比など、参考書として手元に1冊。

難易度　★
コメント
かぜを自信持って診療できるようになりたい人は必読！

5）事前アンケート

1．将来の希望進路とする診療科があれば教えてください（複数記載可）。
（　　）

2．当院での主となる研修希望診療科を教えてください。また経験したい疾患や手技があれば教えてください。
（　　）

3．学会参加や発表、特別休暇 など事前にわかっている予定があれば教えてください。
（　　）

4．当院での研修に際して、不安や心配なこと、要望などあれば何でも自由に記載ください。
（　　）

6）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

玉島中央病院

1）研修スケジュール

月 ～ 土	外来・入院診療及び救急対応

2）玉島中央病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	基本的身体診察が適切に行える。			
2．	診断に必要な検査を適切に選択し、説明と実施ができる。			
3．	年齢･性別･状態に応じた治療計画を、指導医とともに立案することができる。			
4．	治療計画に基づき、患者･家族へ具体的な内容を説明できる。			
5．	SOAPに基づいた、診療録記載ができる。			
6．	医師･看護師･その他の医療スタッフと協調して、医療を行うことができる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患

・整形外科：骨折、その他の運動器系疾患
・脳外科：めまい、脳血管疾患
・皮膚科：一般的な皮膚疾患、ｱﾚﾙｷﾞｰ疾患
・形成外科：外傷、陥入爪、褥瘡、皮膚腫瘍
・美容外科：美容外科一般
・麻酔科：疼痛性疾患
・内科：感染症、糖尿病、血液疾患
・外科：消化器疾患、消化管がん
・泌尿器科：尿路･腎疾患
・循環器内科：循環器全般、不整脈、ペースメーカー植え込み等
・放射線科：画像診断全般
・呼吸器外科・呼吸器内科：各領域の一般的な疾患

経験できる手技

・静脈採血、動脈採血、血管確保
・中心静脈確保(助手)
・皮下注射、筋肉注射
・超音波検査（腹部・心臓）
・骨折非観血的･観血的整復、関節鏡
・消化管内視鏡（上部・下部）
・ESWL←削除してください。
・各領域の手術（助手）

(注：必ず経験できるとは限りません！)

玉島中央病院

4）事前アンケート

・研修期間中に一般外来研修が何日必要ですか。（　　日）

・研修期間中に経験したい症候・病態・疾病があれば教えてください。
（　　）

5）自由記載欄（研修について要望などがあれば、自由に記載してください）

6）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

特定医療法人社団同仁会 金光病院

1）研修スケジュール

月～土	8：15～ 画像カンファレンス実施（指導医により予定変更あり）	8：30～12：15・13：30～17：00 外来診療、検査、(手術)、病棟回診

2）金光病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1.	医療面接・基本的身体診察が適切に行える。 (救患トリアージや紹介患者の初期対応)			
2.	必要な検査を選択し、患者(家族)同意のもとに実施できる。			
3.	各検査所見から年齢、重症度に応じた治療計画を指導医と立案できる。（病態の説明・治療の必要性）			
4.	治療計画に基づいた基本的手技が実施できる。			
5.	SOAPに基づいた診療録記録ができる。 （入退院書類関連を適切に作成することできる）			
6.	入院患者は早期在宅支援に移行できるように多職種と協調して医療を提供することができる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技 (注：必ず経験できるとは限りません！)

経験できる疾患

①内科系

高血圧症、糖尿病、心不全、腎不全、呼吸器疾患(喘息、COPD 他）関節ﾘｳﾏﾁ
潰瘍(胃・十二指腸）、ポリープ(胃・大腸）脳血管・循環器疾患、感染症 等
…消化管内視鏡検査、人工透析(血液透析）、体腔穿刺、骨髄検査 他

②救急対応

外傷、骨折、呼吸器・脳血管障害、CPA 等
…心肺蘇生に必要な手技、処置（縫合・整復・固定 他）
※高ｴﾈﾙｷﾞｰ外傷は対応していません。

③外科系

一般外傷、骨折、潰瘍(胃・十二指腸）、ポリープ(胃・大腸）、胆道疾患（胆のう炎・胆石症)、ヘルニア、急性虫垂炎、腸閉塞、痔核、気胸、乳腺・甲状腺疾患 等
…処置（縫合・整復・固定・ﾄﾞﾚﾅｰｼﾞ 他）
検査（肛門鏡・消化管内視鏡・穿刺吸引 他)
手術（内視鏡・開腹・腹腔鏡）

④泌尿器科系

尿路(腎)結石、過活動膀胱、前立腺肥大症 等
…処置(カテーテル留置 他）
手術(ESWL、内視鏡、開腹）

⑤悪性疾患

胃癌、大腸癌、乳癌、膀胱癌、前立腺癌 等
…内視鏡検査、手術、化学療法、免疫療法
CVポート留置

⑥その他

皮下・皮膚腫瘍、褥瘡
…手術

経験できる手技

・緊急処置（気道確保・胸骨圧迫・AED・CVライン確保 他）
・外傷処置（縫合・整復・固定 他）
・その他処置（透析医療　他）
・消化管内視鏡検査(介助含む）
・外科手術(助手）…開腹・腹腔鏡・内視鏡・ESWL
・終末期医療（緩和医療を含む）の対応

特定医療法人社団同仁会 金光病院

4）事前アンケート

・研修期間中に一般外来研修が何日必要ですか。（　　）

・研修期間中に経験したい症候・病態・疾病があれば教えてください。
（　　）

・将来、志望(専攻)・興味のある分野や診療科が分かれば教えてください。
※複数回答可
（　　）

・当院研修中に事前に分かっている予定があれば教えてください。
※学会参加や特別休暇など
（　　）

・その他、研修中に気になる点がありましたら、記載してください。
（　　）

5）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

倉敷第一病院

1）研修スケジュール

月	午前 内科外来	午後 （初日：救急処置、術中術後管理の講義）・外科手術・内科外来
火	午前 内科外来	午後 整形外科手術・内科外来
水	午前 外科外来	午後 整形外科手術・訪問診療など
木	午前 内科外来・消化管内視鏡見学など	午後 外科手術・訪問診療など
金	午前 内科外来	午後 整形外科手術・外科外来
土	午前 外科外来	

2）倉敷第一病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	患者-医師関係の基本姿勢・態度を身につける。			
2．	チーム医療（構成員としての役割）を身につける。			
3．	問題対応能力（問題把握・対応・計画の作成）を身につける。			
4．	外来患者の対応ができる。			
5．	病棟患者の管理ができる。			
6．	手術（種類は問わない）の助手ができる。			
7．	簡単な手術の執刀ができる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる症候
- 発熱
- 胸痛
- 呼吸困難
- 腹痛
- 便通異常（下痢・便秘）

経験できる疾病・病態
- 高血圧
- 肺炎
- 急性上気道炎
- 気管支喘息
- 慢性閉塞性肺疾患（COPD）
- 急性胃腸炎
- 高エネルギー外傷・骨折
- 糖尿病
- 脂質異常症

経験できる手技
- 外来業務
- 入院業務
- ルート確保
- 縫合
- 気管挿管
- 手術の第一助手
- 手術の執刀
- 整形外科的手技

(注：必ず経験できるとは限りません！)

倉敷第一病院

４）事前アンケート　なし

５）自由記載欄（研修について要望などがあれば、自由に記載してください）

６）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載）
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勝山病院

1）研修スケジュール

別ページに記載

2）勝山病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	地域医療の特性が理解できる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる症候	経験できる疾病・病態
・発熱 ・頭痛 ・めまい ・嘔気・嘔吐 ・腹痛 ・便通異常（下痢・便秘） ・熱傷・外傷 ・腰・背部痛 ・関節痛 ・運動麻痺・筋力低下 ・終末期の症候	・認知症 ・高血圧 ・肺炎 ・急性上気道炎 ・気管支喘息 ・急性胃腸炎 ・糖尿病 ・脂質異常症

(注：必ず経験できるとは限りません！)

勝山病院

４）事前アンケート　なし

５）自由記載欄（研修について要望などがあれば、自由に記載してください）

６）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

落合病院

1）研修スケジュール

月	午前 医局会、検査（腹部超音波）/病棟業務	午後 往診
火	午前 病棟業務	
水	午前 胃内視鏡/病棟業務	午後 地域連携委員会、往診
木	午前 腹部超音波/病棟業務	午後 病棟業務、当直
金	午前 胃内視鏡/病棟業務	午後 NST委員会、往診
土	午前 腹部超音波/病棟業務	

2）落合病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	指導医と入院患者を受け持ち、検査・治療・指導を行う。			
2．	一般的な疾患の診療を行う。			
3．	救急当番医とともに救急診療に対応する。			
4．	専門外来や内科以外での外来研修を経験する			
5．	地域医療に関わり、現状を理解する。			
6．	訪問診療に従事する。			
7．	高齢者診療や緩和医療に関わり、治療方針を立てる。			
8．	当直医の指導のもと、当直業務にあたる。			
9.	他職種との連携や委員会活動に参加する。			
10.	災害訓練に参加する。			
11.	病院内外の研究会、講演会に参加する。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患	**経験できる手技**
・感染症：インフルエンザ、髄膜炎など ・呼吸器疾患：気管支炎、肺炎、COPDなど ・消化器疾患：肝炎、胆嚢炎、膵炎、各種消化管疾患など ・循環器疾患：狭心症、心不全、不整脈など ・腎疾患：尿路感染症、CKD、末期腎不全、透析など ・内分泌疾患：糖尿病、甲状腺疾患など ・悪性疾患：胃癌、大腸癌、肝癌、膵癌、胆のう癌、肺癌など ・脳血管疾患：脳梗塞、脳出血、認知症など 救急疾患：心肺停止、小児対応など	・採血 ・静脈路確保 ・腹部超音波検査（ルーチン検査） ・上部消化管内視鏡検査 ・胃瘻造設（助手）

(注：必ず経験できるとは限りません！)

落合病院

４）推薦書籍　なし

５）事前アンケート

１．目指している診療科目や分野があれば、教えてください。（　　）

２．地域医療や地域連携に興味がありますか？

（はい・いいえ・わからない）

３．在宅診療（訪問診療、在宅看取りなど）に興味がありますか？

（はい・いいえ・わからない）

４．施設（老健施設、グループホーム、特養など）の見学希望がありますか？

（はい・いいえ・わからない）

５．何か要望などがあれば、自由に記載してください。

（　　）

６）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

金田病院

1）研修スケジュール（＊希望に応じて柔軟に変更可能）

月	午前 ドック診察、外来応援	午後 ドック所見、外来応援、内視鏡ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
火	午前 外来	午後 ドック所見、ドック説明
水	午前 腹部超音波	午後 ドック所見、内科ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ、内視鏡ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
木	午前 外来応援	午後 ドック所見、心臓超音波、脳神経疾患説明ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
金	午前 外来	午後 ドック所見、外来応援、訪問診療
土	午前 内視鏡	

2）金田病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1.	地域医療を担う病院の一員として、病病連携・病身連携の理解を深める。			
2.	地域の地理的・社会的特性を把握し、柔軟に広い視野を持って診療を行う。			
3.	指導医と共に担当医として患者の治療に主体性を持って携わる。			
4.	各種メディカルスタッフと共にチームの一員として行動する。			
5.	検査業務を施行する。			
6.	身体所見の把握・鑑別所見・カルテの記載などの基本を忠実に行う。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患

・各種内科疾患
　・消化器・呼吸器・糖尿・血液/腫瘍
　　・上記分野は専門医が常勤です
　・膠原病・腎疾患・循環器

・各種外科疾患
　・消化器/一般外科
　・整形外科
　・脳神経外科
　　・いずれも常勤医です

・救急疾患一般

経験できる手技

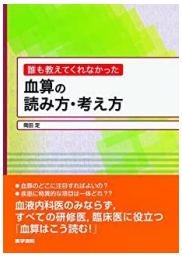
・上部消化管内視鏡検査
・腹部超音波検査
・心臓超音波検査
・下部消化管内視鏡検査
・気管支鏡検査
・Xp・CT・MRI読影
・手術室研修（疾患、術式により見学・助手・執刀等）
・訪問診療・訪問看護の同行
・人間ドック健診
・消防救急車同乗
・胸腔/腹腔穿刺・排液
・末梢/中心静脈穿刺
・気管挿管など各種救急処置

(注：必ず経験できるとは限りません！)

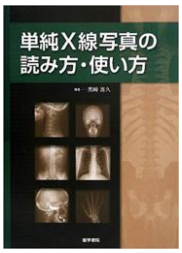
金田病院

4）推薦書籍

難易度 ★★
コメント
「外来」をする前に必読です。
無駄な検査や見落としを防ぐために。



難易度 ★★
コメント
必ず出検するCBC。簡単な様でなかなか教えてもらえない検査。



難易度 ★★★
コメント
すぐに撮影でき被爆も少ない単純Xp。読影のレベルが上がり無駄なCTが減りますよ。

5）事前アンケート

1．内科系・外科系(一般・整形・脳神経)で特に希望する研修がありますか？
（　　）

2．特に経験したい分野・疾患があれば、教えてください。
（　　）

3．学会参加・休暇など、事前に決まっている予定があれば、申し出てください。
（　　）

4．官舎等への希望があればご連絡ください(家族同伴など)
（　　）

5．研修についての要望などがあれば記載してください。
（　　）

＊このアンケート結果で、先生が不利益を受けることは一切ありません。

6）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名 ＿＿＿＿＿＿

さとう記念病院

1）研修スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	外来	内視鏡検査	休診日	在宅診療	手術	外来
午後	病棟	病棟		病棟	病棟	病棟

2）さとう記念病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	基本的身体診察が適切に行える。			
2．	適切な鑑別を挙げ、検査・治療方針を立てることができる。			
3．	外来患者の管理ができる。			
4．	入院患者の管理ができる。			
5．	治療や今後の方針を立て、多職種と連携できる。			
6．	救急外来で自院での対応の可否を判断できる。			
7．	自分の興味のあることについて、知識を深めることができる。			
8．	地域の人々、患者やその家族と関わることができる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる症候

・発疹、・発熱、・もの忘れ
・頭痛、・めまい、・下血・血便
・嘔気・嘔吐、・腹痛
・便通異常（下痢・便秘）
・終末期の症候

経験できる疾病・病態

・認知症、・心不全、・大動脈瘤
・高血圧、・肺がん、・肺炎
・急性上気道炎、・気管支喘息
・慢性閉塞性肺疾患、・急性胃腸炎
・腎不全、・糖尿病、・脂質異常症
・うつ病、・統合失調症、・依存症

経験できる手技

・経鼻胃管挿入
・イレウス管挿入
・PEG造設
・創処置（褥瘡や潰瘍の処置）
・縫合（表皮・真皮・埋没）
・気管挿管
・ペースメーカー入れ替え術（助手）
・中心静脈路確保
・腹部超音波検査
・心臓超音波検査

(注：必ず経験できるとは限りません！)

さとう記念病院

4）事前アンケート　なし

5）自由記載欄（研修について要望などがあれば、自由に記載してください）

6）研修終了時、指導医との振り返り（必ず記載し指導医がセンターに郵送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

高梁中央病院

1）研修スケジュール

(月）午前 内視鏡検査、午後 特養見学、リハビリ実習、内科外来など
（火）午前 超音波検査や血液内科外来、午後 一般外来など
（水）午前 内視鏡検査、介護医療院、午後 地域連携室、内視鏡検査、透析センター、内科外来など
（木）午前 超音波検査、午後 救急外来、超音波検査など
（金）午前 内視鏡検査、訪問看護同行、午後 手術（外科）など
（土）休み

2）高梁中央病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1.	地域住民の医療・福祉に対するニーズを理解する。			
2.	地域における小規模病院の医療の現場を経験し理解する。			
3.	地域における保健医療サービスとその連携を理解する。			
4.	介護老人保健施設、特別養護老人ホームの現場を理解する。			
5.	訪問看護の役割を理解し、在宅療養における患者のニーズを理解する。			
6.	高齢者の抱える問題点を理解し、解決方法を他のメディカルスタッフと協議する。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患	経験できる手技
・心不全、不整脈 ・糖尿病 ・胃癌、大腸癌	・超音波検査 ・消化器内視鏡 ・手術（外科・整形外科）

(注：必ず経験できるとは限りません！）

高梁中央病院

4）事前アンケート　なし

5）自由記載欄（研修について要望などがあれば、自由に記載してください）

6）研修終了時、指導医との振り返り（必ず記載し指導医がセンターに郵送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

笠岡第一病院

1）研修スケジュール

月	朝 当直ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ・外科合同ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	午前 内視鏡検査	午後 透析
火	朝 当直ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	午前 整形外科手術	午後 心臓カテーテル検査
水	朝 当直ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	午前 泌尿器科手術	午後 往診・真鍋島診療
木	朝 当直ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	午前 形成外科	午後 整形外科外来
金	朝 当直ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ・内科合同ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	午前 内科系外来	午後 小児科外来
土	朝 当直ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	午前 透析	

2）笠岡第一病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	医療面接が適切に行える。			
2．	基本的身体診察が適切に行える。			
3．	“Common”、”Critical”に分けて鑑別診断を挙げられる。			
4．	感度・特異度を考えながら検査計画を立てることができる。			
5．	具体的な再診指示を行うことができる。			
6．	Shared Decision Makingを実践できる。			
7．	SOAPに基づいた診療録記載ができる。			
8．	適切な「かぜ診療」を行うことができる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患	**経験できる手技**
・各科Common disease ・各種消化器疾患 ・肺炎 ・大腿骨頚部・転子部骨折 ・ばね指・手根管症候群 ・尿路疾患 ・小児の発熱	・上部消化管内視鏡検査 ・下部消化管内視鏡検査 ・腹部エコー検査 ・気管支鏡検査 ・CT・MRI読影 ・整形外科手術実習 ・泌尿器科手術実習 ・心臓カテーテル検査 ・心電図読影 ・小児科外来見学 ・在宅医療支援 ・エルゴメーターなど

(注：必ず経験できるとは限りません！)

笠岡第一病院

4）事前アンケート

1．将来の進路について、現時点で考えていることがあれば記載してください。
（　　）

2．特に興味のある診療科があれば記載してください。
（　　）

3．研修中の要望があれば記載してください。
（　　）

4．当院研修期間中に長期休みの希望がありますか？
（　　）

5．当院での研修について、不安なことがあれば教えてください。
（　　）

5）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

矢掛町国民健康保険病院

1）研修スケジュール

別ページ参照

2）矢掛町国民健康保険病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1.	外来患者の診療を自立して行うことができる。			
2.	救急外来での対応を指導医とともに行うことができる。			
3.	上部下部消化管内視鏡検査の基本的事項を知っている。			
4.	職員と良好な人間関係を構築することができる。			
5.	在宅医療や訪問リハビリテーションなどを経験する。			
6.	多職種の内科及び外科合同カンファレンスに参加する。			
7.	保健/介護専門職に対し、的確な情報を提供することができる。			
8.	医療安全活動と医療の質の向上に寄与する活動に参加する。			
9.	褥瘡・抑制・NST・認知症・緩和ケアの委員会活動に参加し、積極的な役割を果たすことができる。			
10.	地域や家庭を視野に入れた診療ができる。			
11.	地域住民と良好な関係を築き、地域包括ケアを展開することができる。			
12.	現在の地域医療の問題点を指摘し、将来の地域包括ケアに対する展望を持つことができる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患	経験できる手技
・胆石症，胆嚢炎 ・鼡径ヘルニア ・肺炎（市中肺炎，誤嚥性肺炎） ・外傷（外来） ・骨折 ・嚥下困難 ・認知症 ・変形性膝関節症 ・腰痛症 ・糖尿病	・鏡視下手術 ・大腿骨頸骨部骨折、転子部骨折手術 ・上部・下部消化管内視鏡 ・嚥下内視鏡（VE）検査・胃瘻造設 ・胸腔ドレーン挿入 ・CVカテ（ポート）挿入・留置 ・外傷処置 ・褥瘡処置

(注：必ず経験できるとは限りません！)

矢掛町国民健康保険病院

４）研修医の先生方へ

医療を取り巻く状況は厳しいものがあり、自治体病院である矢掛病院も例外ではありません。しかし、矢掛病院は健全な経営を維持しつつも、地域の人々の信頼、期待に応えようと今も努力を続けています。令和２年２月に矢掛病院は病院機能評を受け（ver.1を更新中）、ハード面およびスタッフの業務の見直しなどにより病院の医療の質を高めています。

私たちの病院では、地域の医療を守るために、設備面ではCT、MRI、内視鏡をはじめ必要な機器はほぼ揃えています。画像保存通信システムPACS及び電子カルテも稼働しています。このように地域の病院であっても時代にあった医療のレベルを維持する努力を続けています。

矢掛病院で行われる医療は大病院で行われる医療のように、専門の分野だけができればよいというものではありません。患者さんに関わる問題はとても広いので、必要な医療を遂行するためには、専門の枠にとどまらず、自分の守備範囲を広げる努力が必要です。個々の患者さんにもっともふさわしい医療は何か。自問しつつ、総合的な見地から医療の必要性を判断する。患者さんや家族の背景を考慮しながら、院内・院外を含む医療だけでなく地域の福祉や保健などの地域の医療福祉資源をフルに活用し、最善の方策を決めていく、そのようなチーム医療のリーダーとしての役割が医師には求められています。

矢掛町は、歴史ある豊かな自然に囲まれた町です。また、南北に隣接する２市の遥照山、美星町の３つの天文台に囲まれた星空の綺麗な町でもあります。矢掛町では季節の移り変わりを人々の暮らしとともに感じることができるでしょう。地域の人々からの信頼に応えようと、日々の医療を誠実に着実に行う。矢掛病院でここでしか学べない医療を一緒に考え実践してみませんか。先生方にとっても貴重な経験になると信じています。

５）自由記載欄（研修について要望などがあれば、自由に記載してください）

６）研修終了時、指導医との振り返り（必ず記載し指導医がセンターに郵送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

渡辺病院

1）研修スケジュール

(月）午前 超音波検査、外来　　午後 病棟、手術など
（火）午前 内視鏡検査、病棟　　午後 外来、症例カンファレンス
（水）午前 内視鏡検査、外来　　午後 病棟、訪問診療
（木）午前 内視鏡検査、外来　　午後 病棟または院外研修
（金）午前 超音波検査、病棟　　午後 外来

＊朝と夕、指導医とミーティングを行う
＊院外研修：へき地診療所研修、消防署実習、老健施設/訪問看護
＊多職種カンファレンス、担当者会議には出席する

2）渡辺病院における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	医療面接が適切に行える。			
2．	基本的身体診察が行える。			
3．	救急初療が適切に行える。			
4．	患者中心の医療を実践できる。			
5．	退院後の生活を考慮した退院調整が行える。			
6．	多職種とのコミュニケーションが円滑にできる。			
7．	主治医として入院判断、入院診療、退院支援、退院後の外来診療までの一貫した継続性のある診療を行える。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患	経験できる手技
・肺炎 ・腎盂腎炎 ・胆管炎 ・脳血管障害 ・心不全 ・腎不全 ・認知症 ・嚥下障害 ・せん妄 ・がん終末期 ・交通事故（高エネルギー外傷・骨折）	・上部消化管内視鏡 ・腹部エコー ・心エコー ・下部消化管内視鏡 ・脊椎麻酔 ・胃瘻造設 ・CVカテーテル挿入 ・ビデオ嚥下造影検査 ・全身麻酔 ・縫合処置 ・一般的な創傷処置

(注：必ず経験できるとは限りません！）

渡辺病院

4）事前アンケート

1．これまでに地域医療実習や研修をしたことがありますか？

はい（施設名：　　）、いいえ

2．将来希望している専門分野は何科ですか？

（　　）

3．地域医療研修で勉強したい分野は何ですか？

（　　）

4．地域医療研修で最も期待しているものを1つだけ選んでください。

【医師関係】（外来、病棟、救急外来、当直、内視鏡、褥瘡回診、診療所）

【他のメディカルスタッフ関係】他職種カンファレンス

【院外での研修】（消防実習、介護施設見学、その他（　　））

5．これまでローテートした診療科を教えてください。

（　　）

6．地域医療研修における、自分なりの目標を5つ挙げてください。

①（　　）

②（　　）

③（　　）

④（　　）

⑤（　　）

5）研修終了時、指導医との振り返り（必ず記載し指導医がセンターに郵送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

あさのクリニック

1）研修スケジュール

月	午前 外来診療・訪問診療	午後 外来診療・訪問診療
火	午前 外来診療・訪問診療	午後 外来診療・訪問診療
水	午前 外来診療・訪問診療	午後 外来診療・訪問診療
木	午前 外来診療・訪問診療	午後 外来診療・訪問診療
金	午前 外来診療・訪問診療	午後 外来診療・訪問診療・ドクターカンファレンス

※（土）・（日）・（祝）・（平日夜間）　院長が在宅当番の日の緊急出勤に同行

2）あさのクリニックにおける形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	医療面接ができる。			
2．	基本的身体診察ができる。			
3．	必要な検査を計画し、実施できる。			
4．	Common diseaseの初期診療ができる。			
5．	訪問診療の準備（情報収集と診療計画）ができる。			
6．	訪問診療に同行し、実践できる。			
7．	ACPについて説明できる。			
8．	在宅での看取りに同行し、経験できる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患

①感染症

急性上気道炎、急性気管支炎、インフルエンザ、副鼻腔炎、肺炎、胆嚢炎、胆管炎、虫垂炎、憩室炎、尿路感染症、蜂窩織炎、皮膚の真菌症など

②悪性疾患

脳腫瘍、胃癌、大腸癌、肝癌、膵癌、胆嚢癌、胆管癌、前立腺癌、肺癌、乳癌、子宮癌、皮膚癌、頭頸部癌、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、転移性骨腫瘍など

③その他の疾患

高血圧、糖尿病、脂質異常症、甲状腺疾患、関節リウマチ、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、胃炎、腸炎、過敏性腸症候群、前立腺肥大症、尿路結石、パーキンソン病、頭痛、脳血管障害、認知症、不眠、気分変調症、統合失調症　など

経験できる手技

静脈採血、インフルエンザ迅速検査、溶連菌迅速検査、真菌検査、尿沈渣、心電図検査、超音波検査（腹部、尿路、心臓、表在などの一般検査）

レントゲン検査（胸部、腹部、四肢など）

参加できるカンファレンス

退院カンファレンス、介護サービス担当者会議、看取り後のデスカンファレンス

参加できる地域活動

地域住民との交流の場の運営、看護師主体の院外保健活動、地域の講演会、その他

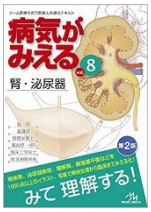
(注：必ず経験できるとは限りません)

あさのクリニック

4）推薦書籍

CareNet

難易度　★★
コメント
ケアネット
侮れず！
実践的です。



難易度　★★
コメント
病気がみえる
腎・泌尿器
基本のなるほど！

難易度　★★
コメント
認知症診療について、
実践的内容。

難易度　★★
コメント
在宅医療の基本をしっかり学べます。

5）事前アンケート

1．なぜ当院の地域医療研修を希望されましたか？
（　　）

2．将来進むことを希望している領域があれば教えて下さい。
（　　）

3．在宅医療のイメージを教えて下さい。
（　　）

4．研修期間中に希望する休暇があれば申し出てください（相談しましょう）。
（　　）

5．研修についての希望や不安なことがあれば教えて下さい。
（　　）

6）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名 ＿＿＿＿＿＿

いわもとクリニック

1）研修スケジュール

月	9：00～12：30 外来診療		15：00～18：30 外来診療
火	9：00～12：30 外来診療	12：30～（第1週のみ） 在宅往診	15：00～18：30 外来診療
水	9：00～12：30 外来診療		15：00～18：30 外来診療
木	9：00～12：30 外来診療		午後 休診
金	9：00～12：30 外来診療	12：30～（第2・4週のみ） 在宅往診	15：00～18：30 外来診療
土	9：00～12：30 外来診療	13：30～17：30 外来診療	

2）いわもとクリニックにおける形成的評価のための項目

	形成的評価のための項目	研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	医療面接を適切に行える。			
2．	基本的身体診療が行える。			
3．	SOAPに基づいた診療録記載ができる。			
4．	緊急性と重症度を意識した診療ができる。			
5．	検査の特性を考えて検査計画を立てることができる（患者家族同意のもと）。			
6．	再診指示を適切に行うことができる。			
7．	患者背景や意向に考慮した対応を行うことができる。			
8．	鑑別診断を挙げることができる（common/uncommon）。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患	経験できる手技
・急性上気道炎・インフルエンザ ・急性気管支炎・肺炎・副鼻腔炎 ・感染性腸炎・急性虫垂炎・大腸憩室炎 ・虚血性腸炎・胆石症・胆嚢炎・胆管炎 ・膀胱炎・腎盂腎炎・尿管結石症 ・認知症・高血圧症・脂質異常症・糖尿病 ・高尿酸血症・喘息・COPD・骨粗鬆症 ・慢性腎臓病・心房細胞 ・甲状腺機能異常症・過活動膀胱 ・前立腺肥大症 ・関節痛／関節炎（手指、膝、腰、肩、肘） ・悪性疾患	・静脈採血 ・関節穿刺 ・上部消化管内視鏡 ・超音波検査 ・皮下注射　筋肉注射 ・トリガーポイント注射 ・外科的小手術

(注：必ず経験できるとは限りません！)

いわもとクリニック

4）推薦書籍

難易度　★

難易度　★

難易度　★★

5）事前アンケート

1．希望進路があれば、教えてください。

内科系（　　）
外科系（　　）
マイナー系（　　）

6）自由記載欄（研修について要望などがあれば、自由に記載してください）

7）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

重井医学研究所附属病院

1）研修スケジュール

月	午前 外来診療または透析回診	午後 病棟回診
火	午前 外来診療または透析回診	午後 病棟回診
水	午前 外来診療または透析回診	午後 病棟回診
木	休　診	
金	午前 外来診療または透析回診	午後 病棟回診
土	午前 外来診療または透析回診	午後 病棟回診

2）重井医学研究所附属病院における形成的評価のための項目

	形成的評価のための項目	研修前	研修終了時	指導医記入欄
1.	地域医療を担う病院の一員として、病病連携・病診連携の理解を深める。			
2.	指導医と共に担当医として患者の治療に主体性を持って携わる。			
3.	退院支援に向けた取り組みについて理解を深め、在宅復帰後の生活のイメージが持てる。			
4.	各種メディカルスタッフと共にチームの一員として行動する。			
5.	身体所見の把握・鑑別所見・SOAPに基づいたカルテの記載などの基本を忠実に行う。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患	**経験できる手技**

(注：必ず経験できるとは限りません！)

重井医学研究所附属病院

５）事前アンケート

１．将来の希望進路とする診療科があれば教えてください（複数記載可）。
（　　）

２．当院で特に経験したい分野・疾患があれば、教えてください。
（　　）

３．学会参加・休暇など、事前に決まっている予定があれば、教えてください。
（　　）

４．研修についての要望などがあれば記載してください。
（　　）

＊このアンケート結果で、先生が不利益を受けることは一切ありません。

６）研修終了時、指導医との振り返り（研修終了後、センターに返送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

きたの内科クリニック

月	9：00～12：00 外来診療	12：00～ 往診（毎週）	15：00～18：30 外来診療
火	9：00～12：00 外来診療	12：00～ 往診（隔週）	15：00～18：30 外来診療
水	9：00～12：00 外来診療		
木	9：00～12：00 外来診療		15：00～18：30 外来診療
金	9：00～12：00 外来診療	12：00～ 往診（毎週）	15：00～18：30 外来診療
土	9：00～12：00 外来診療		

2）きたの内科クリニックにおける形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1．	医療情報を適切に聞き出せる。			
2．	身体所見を適切にとれる。			
3．	検査を適切に組み立てられる。			
4．	治療方針が決定できる。			
5．	検査、治療方針について説明できる。			
6．	緊急搬送の判断が出来る。			
7．	精査、加療目的での医療連携が行える。			
8．	訪問診療に同行し、実践できる。			

a=十分できる　b=できる　c=要努力 (3段階評価)　/　?=評価不能

3）経験できる疾患や手技

経験できる疾患

・急性感染症

急性上気道炎、急性咽頭炎、急性扁桃腺炎、急性気管支炎、肺炎、急性副鼻腔炎、胆嚢炎、虫垂炎、大腸憩室炎、膀胱炎、腎盂腎炎等。

・一般的な疾患

良性発作性頭位めまい症、高血圧、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、心臓弁膜性疾患、不整脈、急性心筋梗塞、急性心不全、胆石症、慢性腎臓病、ネフローゼ症候群、尿路結石、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、過活動膀胱、鉄欠乏性貧血等。

・管理すべき疾患

陳旧性心筋梗塞、脳血管障害後遺症、各種悪性腫瘍術後併発症等。

(注：必ず経験できるとは限りません！)

経験できる手技

・静脈採血
・皮下注射、筋肉内注射
・心電図
・レントゲン（一般撮影）
・超音波検査

きたの内科クリニック

4）推薦書籍　特になし

5）事前アンケート

1．研修に関して希望があれば教えてください。
（　　）
2．在宅医療に興味があるか教えてください。
（　　）
3．在宅医療の看取りについて何か意見があれば教えてください。
（　　）

6）研修終了時、指導医との振り返り（必ず記載し指導医がセンターに郵送）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載） 指導医氏名（押印可）　＿＿＿＿＿＿＿＿
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか-次へのアクションプラン（研修医記載）	

氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿